

取扱説明書(つながるねっとサービス編)

HD映像コミュニケーションユニット

KX-VC300

品番 KX-VC600

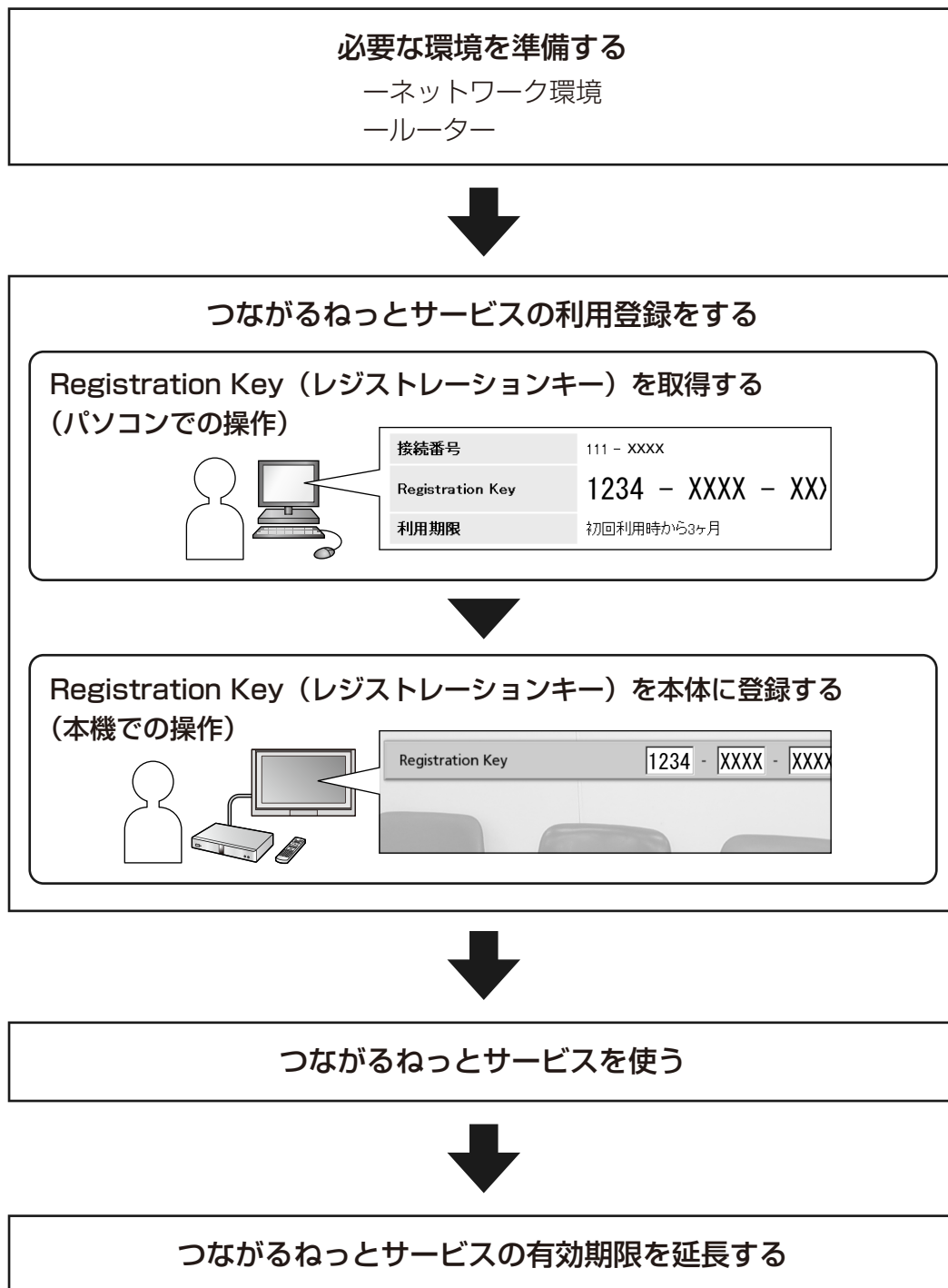
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

はじめに

本書について

本書は、「つながるねっとサービス」を導入し、運用を開始していただくために必要な情報や手順を記載しています。



商標および登録商標について

- Microsoft、WindowsおよびInternet Explorer は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- MozillaとFirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

その他

日時の記載について

つながるねっとサービスの有効期限や延長可能期限は、日本での時刻ではなくグリニッジ標準時における日時になります。

設定の記載について

本書では、表示される設定項目や設定できる値などについては、ソフトウェアバージョン3.10のものを記載しています。

イラストについて

本書では、本体のイラストはKX-VC600を例に記載しています。

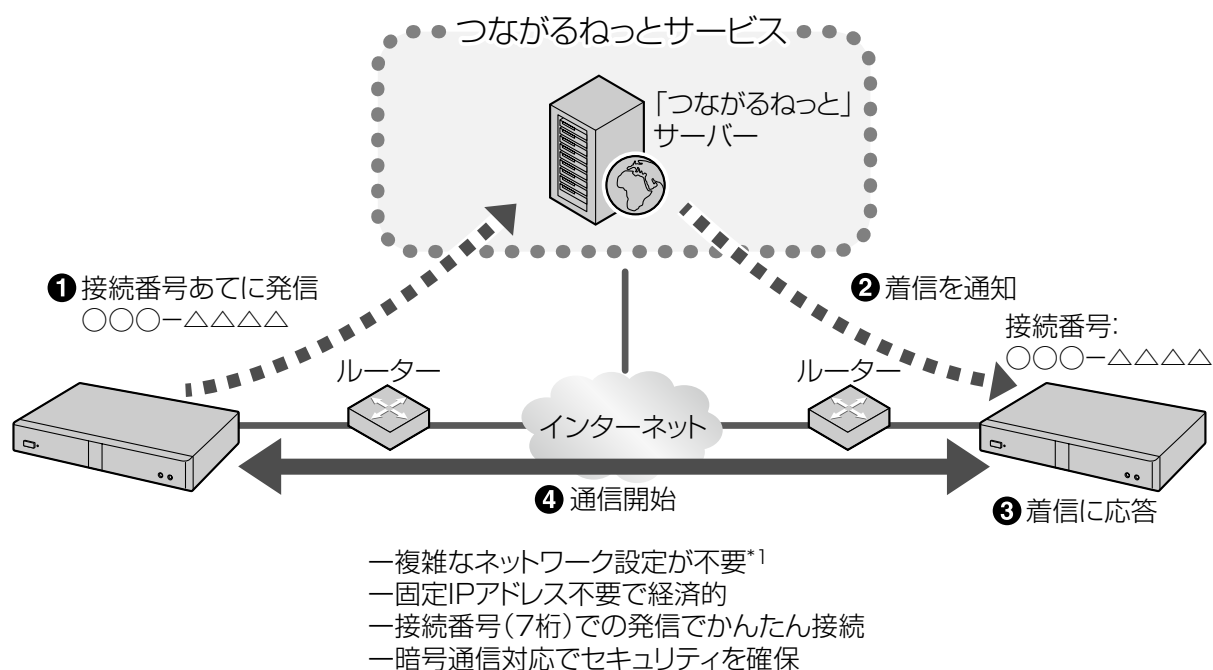
アクティベーションキーシートについて

本書で記載しているアクティベーションキーシートは、KX-VC300/KX-VC600をお買い上げいただいた場合にのみ、本体に添付されております。

もくじ

つながるねっとサービスとは	5
つながるねっとサービスについて	5
つながるねっとサービスを導入する	7
インターネットに接続する	7
Registration Key (レジストレーションキー) を取得する	7
MPR IDを確認する (本機での操作)	7
Registration Key (レジストレーションキー) を取得する (パソコンでの操作) ...	8
Registration Key (レジストレーションキー) を再表示させる (パソコンでの操 作)	10
Registration Key (レジストレーションキー) を登録する	11
ネットワークの設定をする	11
つながるねっとサービスのサーバーポート設定をする	16
Registration Key (レジストレーションキー) を本体に登録する	17
暗号通信の設定をする	19
共通の暗号鍵を設定する	19
発信元ごとに暗号鍵を設定する	20
つながるねっとサービスを使う	24
アドレス帳に相手先を登録する	24
1 地点を登録する	24
多地点を登録する	24
通信をする	26
発信する	26
着信に応答する	31
つながるねっとサービスの有効期限を延長する	32
つながるねっとサービスの有効期限を延長する	32
困ったとき	36
つながるねっとサービス登録ページについて	36
本機について	37

つながるねっとサービスについて

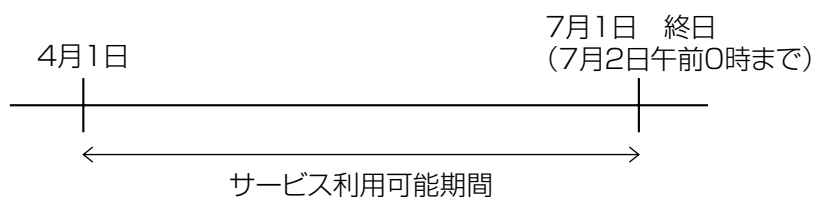


*¹ 当社にて動作検証済みのルーターを使用してください(7ページ)。

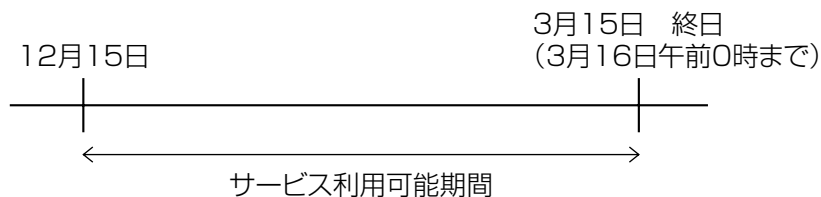
サービスの有効期限について

本サービスをご利用になるには、サービスの利用登録が必要です。添付のアクティベーションキーシートで利用登録を行うことで、本サービスを3か月間無料でご利用いただけます。サービスの利用可能期間は、利用登録が完了した時点(「Registration Key (レジストレーションキー) を本体に登録する」の手順が完了した時点)から開始されます。有効期限は開始から3か月後にあたる日の終日(日付が変わる翌日午前0時まで)となります。

例1：4月1日に利用登録を完了した場合



例2：12月15日に利用登録を完了した場合



お知らせ

- ・ サービスの有効期限は、本機を使って確認することができます。確認方法については、「有効期限を確認する」を参照してください。

お試し用の利用可能期間終了後も継続して本サービスをご利用になるには、有償のアクティベーションキーカードを購入し有効期限を延長する必要があります。延長できる期間はカードによって異なります。カードの詳細については、販売店にお問い合わせください。

延長についての手順や詳しい内容については、「つながるねっとサービスの有効期限を延長する」を参照してください。

セキュリティについて

本サービスはインターネット回線を利用して通信を行うため、暗号通信を無効にしていると盗聴される恐れがあります。本サービスを使って通信をする際は、暗号通信を有効にしてください。設定方法については「暗号通信の設定をする」を参照してください。

インターネットに接続する

つながるねっとサービスを利用するためには、以下の条件を満たしている機器および環境が必要です。

ネットワーク環境

つながるねっとサービスを利用して通信をする場合は、ブロードバンド回線による接続が必要です。推奨環境は光回線です。

ルーター

当社にて動作検証済みのルーターを使用して、プロバイダーからの設定情報をもとにインターネット接続の設定を行ってください。検証済みルーターの詳細については、以下のホームページを参照してください。

<https://sol.panasonic.biz/visual/products/connection.html>

ルーターの設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。

ルーターと本体を接続する

1 ルーターと本体背面のLANジャックを接続する

- カテゴリー5以上のLANケーブルでルーターと本体背面のLANジャックをつないでください。(LANジャックの位置は、お使いの機種によって異なります。取扱説明書(操作編)を参照してください。)

お知らせ

- 次の場合、通信は保証されません。
 - 検証済みルーター以外のルーターを使用した場合
 - 1台のルーターに複数台のHD映像コミュニケーションユニットを接続した場合
 - ルーターを使用せずに、HD映像コミュニケーションユニットを直接インターネットに接続した場合

Registration Key (レジストレーションキー) を取得する

パソコンから、つながるねっとサービス登録ページにアクセスし、Registration Key (レジストレーションキー) を取得します。取得するには次の情報が必要です。

- **MPR ID**
 - 本体背面のラベル、または本機を操作して確認することができます。確認方法については「MPR IDを確認する(本機での操作)」を参照してください。
- **Activation Key No. (アクティベーションキーナンバー)**
 - アクティベーションキーカードまたはアクティベーションキーシートに記載されています。
- **Registration ID (レジストレーションID)**
 - アクティベーションキーカードまたはアクティベーションキーシートに記載されています。

MPR IDを確認する(本機での操作)

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定/保守をする」を選び、【決定】を押す

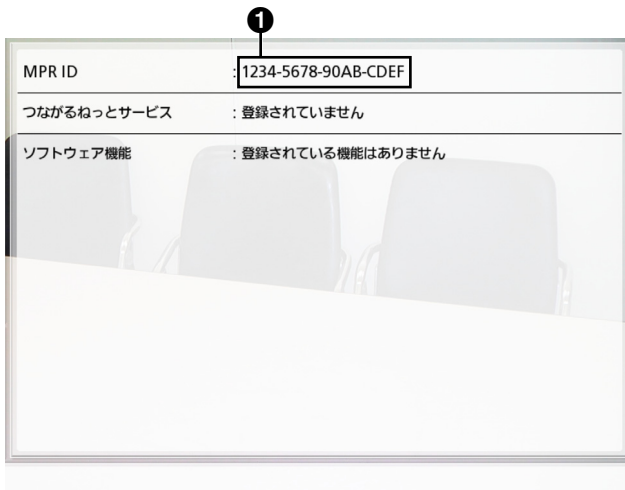
- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を3回押す

- 4ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「拡張機能の確認」を選び、【決定】を押す

- 拡張機能の確認画面が表示されます。「MPR ID」(1)の表示を確認してください。



5 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

Registration Key (レジストレーションキー) を取得する (パソコンでの操作)

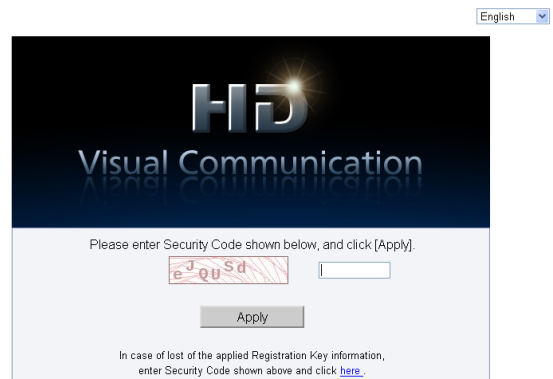
お知らせ

- 対応OSおよびブラウザは次のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 7
 - Microsoft® Windows® Internet Explorer® 8
 - Windows Internet Explorer 10
 - Microsoft Windows 8
 - Windows Internet Explorer 10
 - Mozilla® Firefox®

1 パソコンからつながるねっとサービス登録ページ (<https://www2.tsunagarunet.com/hdcom/main>) にアクセスする

- ログイン画面が表示されます。

2 画面右上のプルダウンメニューから「日本語」を選ぶ



- ログイン画面が日本語で表示されます。

3 画像に表示されている文字を入力し、「次へ」をクリックする



- 機能選択画面が表示されます。

お知らせ

- 入力時にはアルファベットの大文字、小文字の違いも認識されます。

4 HDコム「新規申請」をクリックする

The screenshot shows the HDコム (HD Visual Communication) website interface. At the top, there is a navigation bar with the HD logo and the text 'HD映像コミュニケーションシステム つながるねっとサービス'. Below this, there are two main sections: 'HDコム' and 'MPCS'. In the 'HDコム' section, there are two buttons: '新規申請' (New Application) and '期間の延長' (Extend Period). In the 'MPCS' section, there are also two buttons: '新規申請' (New Application) and '期間の延長' (Extend Period). At the bottom of the page, there is a '終了' (End) button.

- 新規申請画面が表示されます。

5 以下の項目を入力する

The screenshot shows the '設定項目の入力' (Input of Setting Items) form on the HDコム website. The form is titled '設定項目の入力' and contains the following fields: 'MPR ID' (with a note that it is printed on the device and should be confirmed), 'Activation Key No.' (with a note that it is printed on the activation key card and should be confirmed), and 'Registration ID'. There are '戻る' (Back) and '次へ' (Next) buttons at the bottom of the form.

「MPR ID」
「Activation Key No.」
「Registration ID」

6 「次へ」をクリックする

- 約款画面が表示されます。

7 約款をよく読み、内容に同意したうえで「同意する」をクリックする

- 接続番号選択画面が表示されます。

8 利用したい接続番号のラジオボタンをクリックし、「次へ」をクリックする

The screenshot shows the '接続番号の選択' (Select Connection Number) form on the HDコム website. The form is titled '接続番号の選択' and contains the following information: '以下の機器に対し' (For the following device), 'MPR ID' (0000 - 0000 - 0000 - 0002), and '有効期間 3ヶ月のカードを登録します。' (Register a 3-month valid card). There is a list of connection numbers with radio buttons for selection. A '別候補表示' (Show other candidates) button is also present. At the bottom, there are '戻る' (Back) and '次へ' (Next) buttons.

- 入力内容確認画面が表示されます。

お知らせ

- 「別候補表示」をクリックすると、別の利用可能な接続番号の候補が表示されます。この操作は5回まで行うことができます。一度「別候補表示」をクリックすると、それまで表示されていた接続番号の候補に戻ることはできません。

9 「登録」をクリックする

- 申請完了画面が表示されます。画面に表示されている「Registration Key」(16桁)は、本体に登録する際に必要です。この画面を印刷するか、アクティベーションキーシートまたはメモに控えるなどして大切に保管してください。

The screenshot shows the '申請完了' (Application Completed) screen on the HDコム website. The screen displays the following information: '申請が完了しました。Registration Keyを映像コミュニケーションシステムに登録してください。' (Application completed. Please register the Registration Key on the Visual Communication System.), 'Registration Keyは大事なデータです。忘れず、間違えて設定したりすると本機能をご利用できなくなります。再発行できませんので、本画面を印刷するか、正確にメモを取り、必ず大切に保管してください。' (Registration Key is important data. Don't forget, if you set it incorrectly, you will not be able to use the main function. We cannot re-issue it, so please print this screen or take accurate notes and store it carefully.), '接続番号' (Connection Number), 'Registration Key' (16-digit key), and '利用期限' (Usage Period: 初回利用時から3ヶ月). At the bottom, there are '続けて申請' (Apply again) and 'メニューへ' (Go to menu) buttons.

重要

- Registration Key (レジストレーションキー)の内容を紛失した場合は、「Registration Key (レジストレーションキー)を再表示させる(パソコンでの操作)」を参照してください。

10「メニューへ」をクリックする

- 機能選択画面が表示されます。

Registration Key (レジストレーションキー) を再表示させる (パソコンでの操作)

Registration Key (レジストレーションキー) の内容を紛失した場合は、次の手順で再表示させることができます。

- 1 パソコンからつながるねっとサービス登録ページ (<https://www2.tsunagarunet.com/hdcom/main>) にアクセスする
 - ログイン画面が表示されます。
- 2 画面右上のプルダウンメニューから「日本語」を選ぶ



- ログイン画面が日本語で表示されます。

- 3 画像に表示されている文字を入力し、画面下の「こちら」をクリックする

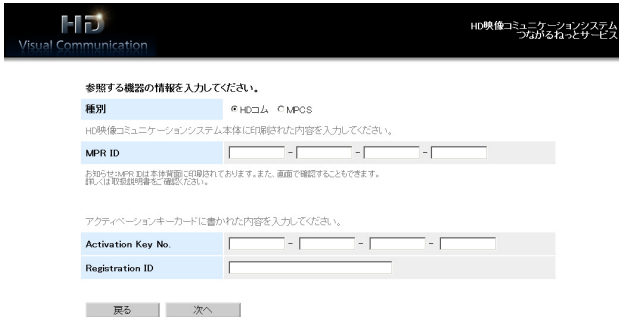


- 機器参照入力画面が表示されます。

お知らせ

- 入力時にはアルファベットの大文字、小文字の違いも認識されます。

4 以下の項目を入力する



HD Visual Communication HD映像コミュニケーションシステム つながるねっとサービス

参照する機器の情報を入力してください。

種別 HDコム MPGS

HD映像コミュニケーションシステム本体に印刷された内容を入力してください。

MPR ID - -

お持ちの本体は本装置面に印刷されています。また、画面で確認することもできます。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

アクティベーションキーカードに書かれた内容を入力してください。

Activation Key No. - -

Registration ID

「種別」：HDコムを選択
「MPR ID」
「Activation Key No.」
「Registration ID」

5 「次へ」をクリックする

- 機器参照画面が表示されます。画面に表示されている「Registration Key」の内容を確認してください。確認が完了したら、ブラウザを閉じてください。



HD Visual Communication HD映像コミュニケーションシステム つながるねっとサービス

情報参照

指定された機器に関する情報は以下のとおりです。

種別	HDコム
接続番号	118 - 1187
MPR ID	0011 - 0000 - 1234 - 0000
MACアドレス	00:00:00:00:00:00
Activation Key No.	0000 - 0000 - 0000 - 0000
Registration ID	00000000
Registration Key	000000 - 000000 - 000000 - 000000
利用期限	初回利用時から1年3ヶ月

Registration Key (レジストレーションキー) を登録する

取得したRegistration Key (レジストレーションキー) を、本体に登録します。本体への登録を行うには、事前にネットワークの設定が必要です。

ネットワークの設定をする 本機を初めて使用する場合

本体の電源を入れた後、言語、接続モード、機器名、日時、ネットワークの設定をします。この設定は後で変更することができます。

- 電源ボタンを押して、本体の電源を入れる
 - 言語の設定画面が表示されます。
- 【決定】 を押し、【▲】【▼】 で言語を選び 【決定】 を押す



- 【緑】 を押す

- 【◀】【▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す
 - 接続モードの設定画面が表示されます。

5 【決定】 を押し、【▲】【▼】 で「つながるねっと サービスモード」を選び、再度【決定】 を押す



お知らせ

- 接続モードの設定が一致していない相手と、通信はできません。

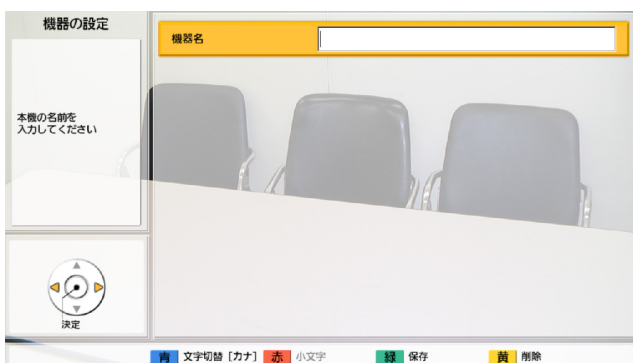
6 【緑】 を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 【◀】【▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- 機器名の設定画面が表示されます。

8 機器名称（全角、半角共通で最大24文字）を入力する



- 全角カタカナ、半角英数字が入力できます。リモコンで入力できる文字以外（漢字など）を設定する場合は販売店にお問い合わせください。
- & < > , ” を使用したい場合は、カナモード（全角）で入力してください。

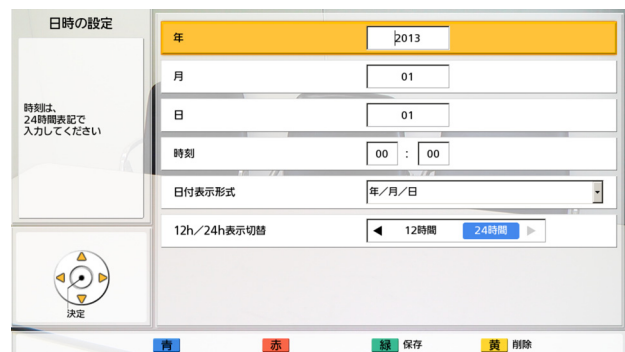
9 【緑】 を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

10 【◀】【▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- 日時の設定画面が表示されます。

11 【▲】【▼】 で設定したい項目を選び、入力する



- 西暦（4桁）、月（1～2桁）、日（1～2桁）、時刻（24時間表示）を入力し、日付表示形式（月/日/年、日/月/年、年/月/日）、時間表示（12時間/24時間）を選択してください。

12【緑】 を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

13【◀】【▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- ネットワークの設定画面が表示されます。

14【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「IPアドレスの設定」：【◀】【▶】で本機のIPアドレス情報（「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

- － 「自動」（デフォルト）：IPアドレス情報を自動的に取得します。
- － 「手動」：IPアドレス情報を手動で設定します。

「IPアドレス」：本機のIPアドレスを入力する
「サブネットマスク」：サブネットマスクを入力する
「デフォルトゲートウェイ」：デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」は、「IPアドレスの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：
（正）192.168.0.1
（誤）192.168.000.001

「DNSの設定」：【◀】【▶】でDNSサーバーのIPアドレス情報（「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

- － 「自動」（デフォルト）：IPアドレス情報を自動的に取得します。
- － 「手動」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「自動」を選ぶには、「IPアドレスの設定」を「自動」に設定している必要があります。
- 「優先DNSサーバー」：優先DNSサーバーのIPアドレスを入力する
「代替DNSサーバー」：代替DNSサーバーのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」は、「DNSの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：
（正）192.168.0.1
（誤）192.168.000.001

15【緑】を押す

設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

16【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

ポート番号設定画面が表示されます。「WAN側ポートの設定」および「LAN側ポートの設定」が「自動」（デフォルト）になっていることを確認してください。

「自動」になっていない場合は、次の手順で設定を変更してください。

1. 【▲】【▼】で「WAN側ポートの設定」および「LAN側ポートの設定」を選ぶ
2. 【◀】【▶】で「自動」を選ぶ

17【緑】を押す

- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

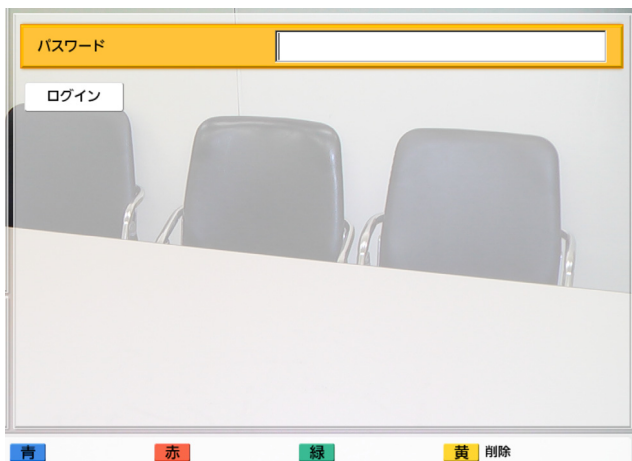
18【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。再起動後、ホーム画面の右上に「つながるねっとサービスモード」と表示されていることを確認してください。

本機をすでに使用している場合

本機をすでに標準モード、またはNGNモードで使用している場合は、次の手順でネットワークの設定を行ってください。

- 1 【メニュー】を押す
 - メニュー画面が表示されます。
- 2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す
 - システム設定画面が表示されます。
- 3 【▶】を3回押す
 - 4ページ目が表示されます。
- 4 【▲】【▼】で「管理者でログイン」を選び、【決定】を押す
 - 管理者ログイン画面が表示されます。
- 5 【▲】【▼】で「パスワード」を選び、パスワード（数字4～10桁）を入力する



お知らせ

- パスワードは、設置時に設定した管理者メニューログイン用パスワードを入力してください。
- パスワードをお忘れになった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 6 【▲】【▼】で「ログイン」を選び、【決定】を押す
 - 管理者メニュー画面が表示されます。
- 7 【▲】【▼】で「接続モードの設定」を選び、【決定】を押す



- 接続モード設定画面が表示されます。
- 8 【決定】を押し、【▲】【▼】で「つながるねっとサービスモード」を選ぶ



お知らせ

- 接続モードの設定が一致していない相手と、通信はできません。

- 9 【緑】を押す
 - 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

10【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 再起動後、ネットワークの設定画面が表示されます。

お知らせ

- ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。

11【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

【IPアドレスの設定】：【◀】【▶】で本機のIPアドレス情報（「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

- 「自動」（デフォルト）：IPアドレス情報を自動的に取得します。
- 「手動」：IPアドレス情報を手動で設定します。

【IPアドレス】：本機のIPアドレスを入力する

【サブネットマスク】：サブネットマスクを入力する

【デフォルトゲートウェイ】：デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」は、「IPアドレスの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。

例：「192.168.0.1」の場合：

（正）192.168.0.1

（誤）192.168.000.001

【DNSの設定】：【◀】【▶】でDNSサーバーのIPアドレス情報（「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

- 「自動」（デフォルト）：IPアドレス情報を自動的に取得します。
- 「手動」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「自動」を選ぶには、「IPアドレスの設定」を「自動」に設定している必要があります。

【優先DNSサーバー】：優先DNSサーバーのIPアドレスを入力する

【代替DNSサーバー】：代替DNSサーバーのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」は、「DNSの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。例：「192.168.0.1」の場合：
（正）192.168.0.1
（誤）192.168.000.001

12【緑】を押す

設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

13【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

ポート番号設定画面が表示されます。「WAN側ポートの設定」および「LAN側ポートの設定」が「自動」（デフォルト）になっていることを確認してください。

「自動」になっていない場合は、次の手順で設定を変更してください。

- 【▲】【▼】で「WAN側ポートの設定」および「LAN側ポートの設定」を選ぶ
- 【◀】【▶】で「自動」を選ぶ

14【緑】を押す

- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

15【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。再起動後、ホーム画面の右上に「つながるねっとサービスモード」と表示されていることを確認してください。

つながるねっとサービスのサーバーポート設定をする

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「通信の設定」を選び【決定】を押す

- 通信設定画面が表示されます。

4 【赤】を2回押す

- つながるねっとサービスのサーバーポート設定画面が表示されます。



5 「つながるねっとのサーバーポート」が「通常」(デフォルト)になっていることを確認してください。

お知らせ

- ルーターによっては「通常」で通信できない場合があります。そのときは「代替」に設定してください。

6 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

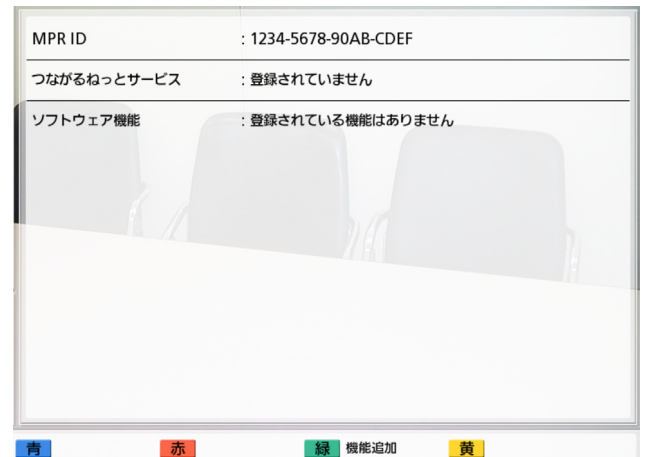
- 8 【ホーム】 を押す
- ホーム画面が表示されます。

Registration Key (レジストレーションキー) を本体に登録する

お知らせ

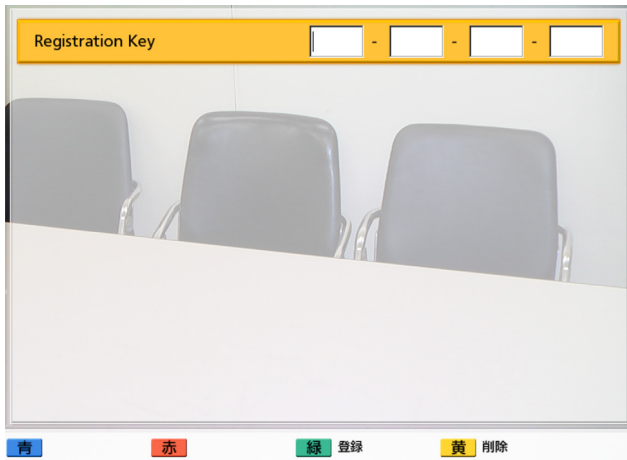
- ホーム画面右上に「つながるねっとサービスモード」が表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、接続モードを「つながるねっとサービスモード」に変更してください (14 ページ)。

- 「本機をすでに使用している場合」の手順1~6を行う
 - 管理者メニュー画面が表示されます。
- 【▶】 を3回押す
 - 4ページ目が表示されます。
- 【▲】【▼】 で「ソフトウェアの拡張」を選び、【決定】 を押す
 - ソフトウェア拡張画面が表示されます。
- 【緑】 を押す



- Registration Key (レジストレーションキー) 登録画面が表示されます。

5 Registration Key (レジストレーションキー) (16桁) を入力する



6 【緑】 を押す

- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 【◀】 【▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。再起動後、ホーム画面右上に接続番号が表示されます。

お知らせ

- 入力したRegistration Key (レジストレーションキー) が無効の場合、**「Registration Keyの認証に失敗しました」**と表示されます。取得したRegistration Key (レジストレーションキー) の内容を再度確認して (10 ページ)、手順5からやり直してください。取得したRegistration Key (レジストレーションキー) を正しく入力しても、上記のメッセージが表示される場合は、販売店にお問い合わせください。
- 再起動後、ホーム画面右上に**「接続番号未取得」**と表示され、接続番号が表示されるまで時間がかかる場合があります。約5分以上経っても表示されない場合は、次の点を確認してください。
 - a. LANケーブルが本体と正しく接続されているか確認して、本機を再起動してください。

- b. ルーターにパソコンを接続して、パソコンからインターネットに接続できるか確認してください。接続できない場合は、ルーターのインターネット接続の設定が正しく行われているか確認してください。

- c. ルーターの下記設定が無効になっていることを確認して、本機を再起動してください。

- パケットフィルタリング設定
- ポートフォワード設定

上記の方法でもうまくいかない場合は、ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。販売店にご相談ください。

暗号通信の設定をする

暗号通信の設定をすると、同じ暗号鍵を設定した相手とのみ通信が可能になるので、間違っで見知らぬ相手に発信をしてしまったり、着信を受けたりするのを防ぐことができます。暗号通信を設定するには、次の2つの方法があります。

共通の暗号鍵を設定する

相手によって暗号鍵を切り替える必要がない場合に設定します。すべての相手が同じ暗号鍵を設定するため、同じ会社や組織内での通信に適しています。

発信元ごとに暗号鍵を設定する

発信元ごとに暗号鍵を設定し、発信元を選択することで暗号鍵を切り替えることができます。複数の取引先などと通信する場合、取引先ごとに暗号鍵を切り替え、取引先どうしが暗号鍵を共有しないようにできます。

お知らせ

- 暗号鍵が設定されていない場合は、暗号通信を有効にすることができません。
- 共通の暗号鍵と発信元ごとの暗号鍵を同時に設定して使い分けることができます。発信元が選択されている場合は発信元ごとの暗号鍵を使用し、発信元選択を解除すると共通の暗号鍵が使用されます。
- 「共通の暗号鍵を設定する」の手順で暗号通信の設定を行うと、同じ設定内容が自動的に標準モードにも反映されます。標準モードでこれまで通信できていた相手と通信できなくなる場合がありますのでご注意ください。標準モードに設定を反映させたくない場合は、「発信元ごとに暗号鍵を設定する」の手順で暗号通信の設定を行ってください。
- 通信時、一方が共通の暗号鍵を使用し、もう一方が発信元ごとの暗号鍵を使用しているも、暗号鍵が一致していれば通信が可能です。

共通の暗号鍵を設定する

お知らせ

- 第三者により暗号通信や暗号鍵の設定を変更される恐れがあります。管理者パスワードの管理や、暗号通信の設定の権限を一般ユーザーに与えるときはご注意ください。

- 「本機をすでに使用している場合」の手順1～6を行う
 - 管理者メニュー画面が表示されます。
- 【▲】【▼】で「暗号通信の設定」を選び、【決定】を押す
 - 暗号通信設定画面が表示されます。
- 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する



「設定するユーザー (SIP)」: 【◀】【▶】で「管理者」を選ぶ

「暗号通信 (SIP)」: 【◀】【▶】で「有効」を選ぶ

お知らせ

- 「暗号通信 (SIP)」の設定が相手と一致しない場合は、通信は開始されません。

「暗号鍵 (SIP)」: 暗号鍵 (4～256文字 [英数字、半角スペース、記号]) を入力する

お知らせ

- & < > , " は入力できません。
- 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク (*) で表示されます。設定した

暗号鍵を画面で確認することができなくなりますので、暗号鍵はメモに控えるなどして大切に保管してください。

- 「暗号鍵 (SIP)」の設定が相手と一致しない場合は、暗号通信を有効にしても、通信は開始されません。
- 暗号鍵がアスタリスク (*) で表示されているときに【黄】を押すと、暗号鍵のすべての文字が削除されます。

4 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

6 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

発信元ごとに暗号鍵を設定する

発信元ごとに暗号通信の設定をすることができます。最大5つの発信元を登録することができます。

設定の準備をする

発信元設定から暗号通信や暗号鍵の設定を行うには、次の手順で一般ユーザーに設定の権限を与える必要があります。

1 「本機をすでに使用している場合」の手順1～6を行う

2 【▲】【▼】で「暗号通信の設定」を選び、【決定】を押す

- 暗号通信設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「設定するユーザー (SIP)」: 【◀】【▶】で「一般」を選ぶ

4 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

6 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

発信元を登録する

- 1 【メニュー】を押す
 - ・ メニュー画面が表示されます。
- 2 【▲】【▼】で「発信元を選択する」を選び、【決定】を押す
 - ・ 発信元選択画面が表示されます。
- 3 【▲】【▼】で「#未使用#」を選び、【青】を押す
 - ・ 発信元設定画面が表示されます。
- 4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「接続モード」：【決定】を押し、【▲】【▼】で「つながるねっとサービスモード」を選ぶ
 「発信元名」：発信元の名前を入力する

お知らせ

- ・ & < > , " を使用したい場合は、カナモード（全角）で入力してください。

「最大帯域」：【決定】を押し、【▲】【▼】で最大帯域（256 kbps、384 kbps、512 kbps、768 kbps、1.0 Mbps、1.2 Mbps、1.5 Mbps、2.0 Mbps、2.5 Mbps、3.0 Mbps、3.5 Mbps、4.0 Mbps、4.5 Mbps、5.0 Mbps、5.5 Mbps、6.0 Mbps、6.5 Mbps、7.0 Mbps、7.5 Mbps、8.0 Mbps、8.5 Mbps、9.0 Mbps [デフォルト]、10.0 Mbps）を選ぶ

お知らせ

- ・ 通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。
- ・ 販売店により設定された最大帯域より大きい値を設定することはできません。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- ・ 3地点通信を行う場合は、「1.0 Mbps」以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。
- ・ 4地点通信を行う場合は、「1.5 Mbps」以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。

「暗号通信 (SIP)」：【◀】【▶】で「有効」を選ぶ

お知らせ

- ・ 暗号通信の設定が異なる相手とは通信ができません。

「暗号鍵 (SIP)」：暗号鍵（4～256文字 [英数字、半角スペース、記号]）を入力する。

お知らせ

- ・ & < > , " は入力できません。
- ・ 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク (*) で表示されます。設定した暗号鍵を画面で確認することができなくなりますので、暗号鍵はメモに控えるなどして大切に保管してください。
- ・ 「暗号鍵 (SIP)」の設定が相手と一致しない場合は、暗号通信を有効にしても、通信は開始されません。
- ・ 暗号鍵がアスタリスク (*) で表示されているときに【黄】を押すと、暗号鍵のすべての文字が削除されます。

「画質」：【◀】【▶】で映像の動きのなめらかさと解像度のどちらを優先させるかを選ぶ

- － 「動き優先」（デフォルト）：動きのなめらかさを優先させます。
- － 「解像度優先」：画質を優先させます。

お知らせ

- ・ 通信参加者の中に、古いバージョンのソフトウェアを使用している相手がいる場合、常に「動き優先」になります。

- 「最大解像度」：【◀】【▶】で通信中のメインビデオカメラとサブビデオカメラの最大解像度を選ぶ
- 「フルHD」：最大解像度：1920 × 1080i（ネットワークの状態に応じて、解像度が切り替わります。）
 - 「HD」（デフォルト [KX-VC300使用時]）：最大解像度：1280 × 720p（ネットワークの状態に応じて、解像度が切り替わります。）
 - 「自動」（デフォルト [KX-VC600使用時]）：利用可能な帯域に基づいて、「フルHD」または「HD」を選びます。

お知らせ

- 推奨設定値は「自動」または「HD」です。
- KX-VC300をご使用の場合、「自動」または「フルHD」に設定するためには、アクティベーションキーカード（KX-VCS401）によりフルHD解像度での映像送信機能を有効にする必要があります。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- 「フルHD」を設定し、帯域が低い通信相手と通信を行った場合、「HD」または「自動」を設定した場合よりも、低い解像度になる可能性があります。
- 相手先の機器が国外に設置されていると、通信者間で動作周波数が異なる場合があります。この場合、「フルHD」に設定していても、最大解像度は「HD」になります。
- 3地点通信中は、「フルHD」に設定していても、メインビデオカメラは自動的に「HD」になります。
- 4地点通信中は、「フルHD」に設定していても、メインビデオカメラとサブビデオカメラは自動的に「HD」になります。
- 「画質」で「解像度優先」に設定している場合、「フルHD」、「HD」は最大解像度で固定となります。ネットワークの状態に応じて解像度を切り替えたい場合は、「自動」に設定してください。
- 低帯域ネットワークを使用したり、帯域を低く設定したりしている場合、「画質」を「解像度優先」に設定すると、映像の表示が遅れる可能性があります。

5 【緑】 を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

7 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

発信元を選択する

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「発信元を選択する」を選び、【決定】を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で、「接続モード」に「つながるねっとサービス」が表示されている発信元を選ぶ

現在の設定	発信元名	接続モード
	room 1	標準
	room 2	標準
	room 3	標準
	room 4	NGN
	room 5	NGN
	room 6	つながるねっとサービス
	room 7	つながるねっとサービス
	room 8	つながるねっとサービス
	#未使用#	
	#未使用#	

青 編集 赤 削除 緑 発信元に設定 黄 設定解除

お知らせ

- 選択中の発信元には、「現在の設定」に「→」が表示されます。
- 発信元が登録されていない場合は「#未使用#」が表示されます。

4 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 発信元選択中は、本体情報には機器名ではなく、「**発信元名**」に入力した名前が表示されます。
- 発信元の選択を解除すると、暗号鍵は管理者メニューで設定した内容に戻ります。暗号通信の有効／無効は「**設定するユーザー (SIP)**」の設定内容により次のとおり異なります。
 - 「**管理者**」に設定した場合：管理者メニューで設定した内容に戻ります。
 - 「**一般**」に設定した場合：通信の設定で設定した内容に戻ります。詳しい内容については取扱説明書（操作編）を参照してください。
- 発信元の選択を解除するには、電源を一度切ったあと再度入れるか、次の手順に従ってください。
 1. 手順1～2をくり返す
 2. 【▲】【▼】で選択中の発信元を選ぶ
 3. 【黄】を押す
 - 発信元の選択を解除するかどうか確認するダイアログボックスが表示されます。
 4. 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す
 - ホーム画面が表示されます。

アドレス帳に相手先を登録する

1 地点を登録する

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「アドレス帳に登録」を選び、【決定】を押す

- アドレス帳登録画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

会議名/拠点名	
短縮ダイヤル	7
最大帯域	指定なし
多地点会議	← しない 2拠点 3拠点 →
接続番号	
拠点名1	
拠点名2	
拠点名3	

青 文字切替 [カナ] 赤 小文字 緑 保存 黄 削除

「会議名/拠点名」：拠点名（全角、半角共通で最大24文字）を入力する

「短縮ダイヤル」：短縮ダイヤル番号（1～300）を入力する

「最大帯域」：【決定】を押し、【▲】【▼】で最大帯域（指定なし、256 kbps～10.0 Mbps）を選ぶ

「多地点会議」：【◀】【▶】で「しない」を選ぶ

「接続番号」：接続番号（7桁）を入力する

4 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- アドレス帳画面が表示されます。

お知らせ

- 連続して登録したい場合は、【青】を押して、手順3～5をくり返してください。

6 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

多地点を登録する

お知らせ

- KX-VC300をご使用の場合、アクティベーションキーカード（KX-VCS301）により多地点発信機能を有効にした後のみ多地点を登録することができます。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「アドレス帳に登録」を選び、【決定】を押す

- アドレス帳登録画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

会議名/拠点名	
短縮ダイヤル	7
最大帯域	指定なし
多地点会議	← しない 2拠点 3拠点 →
接続番号	
拠点名1	
拠点名2	
拠点名3	

青 文字切替 [カナ] 赤 小文字 緑 保存 黄 削除

「会議名/拠点名」：会議名（全角、半角共通で最大24文字）を入力する

「短縮ダイヤル」：短縮ダイヤル番号（1～300）を入力する

「最大帯域」：【決定】を押し、【▲】【▼】で最大帯域（指定なし、256 kbps～10.0 Mbps）を選ぶ

「多地点会議」：【◀】【▶】で「2拠点」、「3拠点」を選ぶ

「拠点名1」／「拠点名2」／「拠点名3」：次の手順でアドレス帳画面から選ぶ

1. 【▲】【▼】で「拠点名1」／「拠点名2」／「拠点名3」を選ぶ
2. 【決定】を押し
 - ・ アドレス帳画面が表示されます。
3. 【▲】【▼】で相手を選ぶ
 - ・ 【◀】【▶】、または数字ボタンを押すと、「ア」～「ワ」、「A-Z」、「他」から表示するタブ（行）が選べます（29 ページ）。
4. 【決定】を押し
 - ・ アドレス帳登録画面が表示されます。

4 【緑】を押し

- ・ 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押し

- ・ アドレス帳画面が表示されます。

お知らせ

- ・ 連続して登録したい場合は、【青】を押して、手順3～5をくり返してください。

6 【ホーム】を押し

- ・ ホーム画面が表示されます。

通信をする

お知らせ

- ホーム画面右上に「つながるねっとサービスモード」および接続番号（7桁）が表示されていることを確認してください。「つながるねっとサービスモード」が表示されていない場合は、接続モードを「つながるねっとサービスモード」に変更してください（14 ページ）。接続番号が表示されていない場合は、37 ページを参照してください。

発信する

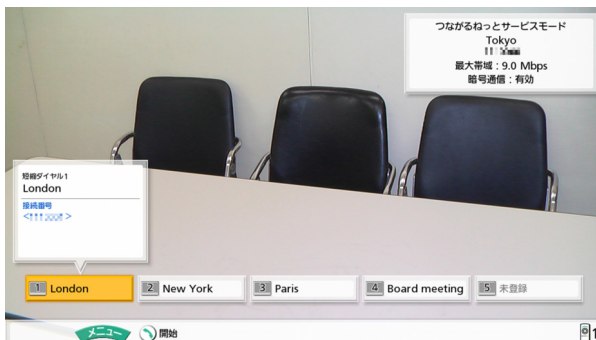
短縮ダイヤルで発信する

お知らせ

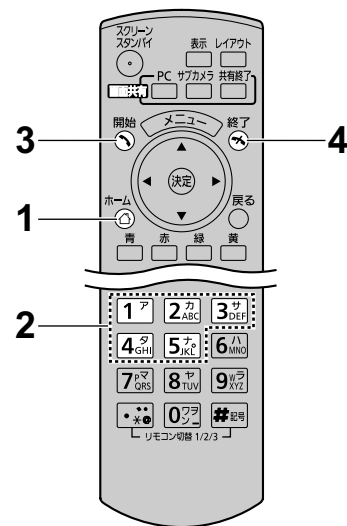
- 短縮ダイヤルで発信するには、あらかじめアドレス帳の「短縮ダイヤル」に番号を登録しておく必要があります（24 ページ）。

リモコンで操作する

- 【ホーム】を押す
 - ホーム画面が表示されます。
- 短縮ダイヤル番号（1～5）を押す
 - 選んだ短縮ダイヤル番号の登録先情報が表示されます。



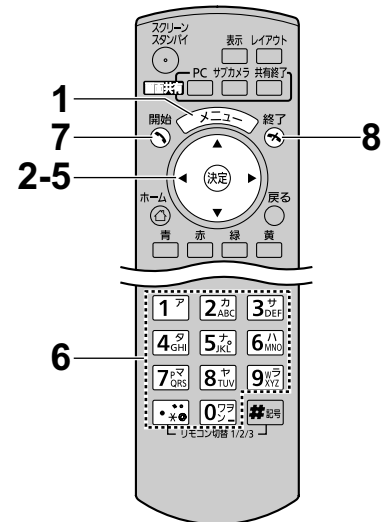
- 【開始】を押す
 - 選んだ短縮ダイヤル番号の登録先に発信します。
 - 【決定】を押して、発信することもできます。
- 通信を終了するときには、【終了】を押す
 - ホーム画面が表示されます。



接続番号を入力して発信する

相手先の接続番号（7桁）を入力して発信します。

- 1 **【メニュー】** を押す
 - メニュー画面が表示されます。
- 2 **【▲】【▼】** で「**発信する**」を選び、**【決定】** を押す
 - 入力画面が表示されます。



お知らせ

手順1、手順2の代わりに、ホーム画面で**【開始】**を押しても入力画面が表示されます。

- 3 **【▲】【▼】** で「**多地点会議**」を選ぶ
- 4 **【◀】【▶】** で以下のいずれかを選ぶ
 - 2地点通信の場合：「**しない**」
 - 3地点通信の場合：「**2拠点**」
 - 4地点通信の場合：「**3拠点**」

お知らせ

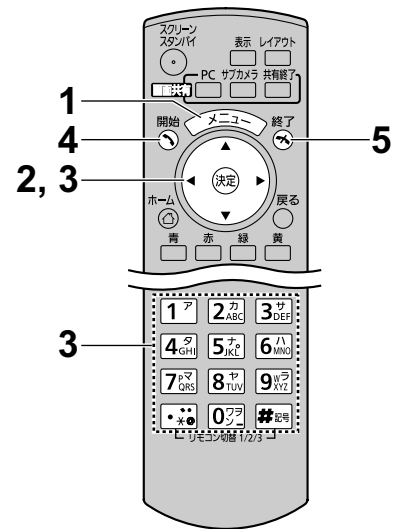
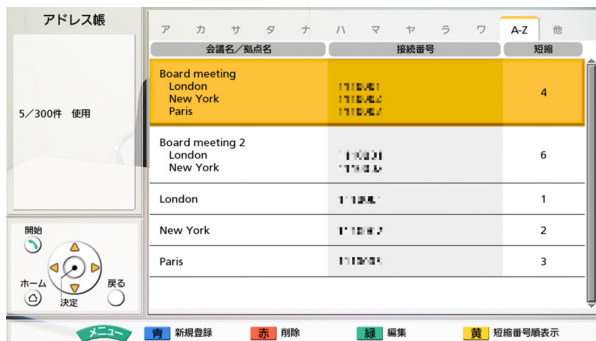
- KX-VC300をご使用の場合、アクティベーションキーカード（KX-VCS301）により多地点発信機能を有効にした後のみ2拠点入力、3拠点入力を行うことができます。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 5 **【▲】【▼】** で「**接続先1**」、「**接続先2**」、「**接続先3**」を選ぶ
 - 6 接続番号（7桁）を入力する

お知らせ

- 次の手順で、アドレス帳から相手先の接続番号を選んで、入力することができます。
 1. **【緑】** を押す
 - アドレス帳画面が表示されます。
 2. **【▲】** **【▼】** で相手を選ぶ
 - **【◀】** **【▶】**、または数字ボタンを押すと、「ア」～「ワ」、「A-Z」、「他」から表示するタブ（行）が選べます（29 ページ）。
 3. **【決定】** を押す
 - 入力画面が表示されます。
 - 通信履歴から接続番号を入力することはできません。
- 7 **【開始】** を押す
- 入力した接続番号に発信します。
 - **【決定】** を押して、通信することもできます。
- 8 通信を終了するときは、**【終了】** を押す
- ホーム画面が表示されます。

アドレス帳から発信する

- 1 【メニュー】を押す
 - メニュー画面が表示されます。
- 2 【▲】【▼】で「アドレス帳を開く」を選び、【決定】を押す
 - アドレス帳画面が表示されます。「会議名／拠点名」の50音・アルファベット順に、行ごとのタブで表示されます。



- 3 【▲】【▼】で発信したい相手を選ぶ
 - 【◀】【▶】を押すと、前後のタブ（行）に切り替わります。（アドレスが登録されていないタブには切り替わりません。）
 - リモコンの数字ボタンを押すと、各ボタンに割り当てられたタブ（行）に切り替わります。

数字ボタン	タブ（行）
1	ア行
2	カ行
3	サ行
4	タ行
5	ナ行
6	ハ行
7	マ行
8	ヤ行
9	ラ行
0	ワ行
*	A-Z
#	他

- 4 【開始】を押す
 - 選んだ登録先へ発信します。
- 5 通信を終了するときは、【終了】を押す
 - ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 次の方法で発信することもできます。
 - 通信履歴から発信する
 - 短縮ダイヤルをメニュー画面から発信する（最大300件の短縮ダイヤル番号から相手を選ぶことができます）

詳しい操作方法については取扱説明書（操作編）を参照してください。

着信に应答する

着信に应答する方法として、手動应答と自動应答があり、設定によりどちらかが設定されています。設定方法については取扱説明書（操作編）を参照してください。

手動应答の場合

着信があると着信音が鳴り、ダイアログボックスが表示されます。

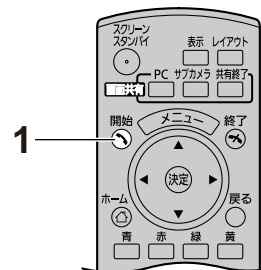


- アドレス帳に登録されている場合は、かけてきた相手の会議名／拠点名が表示されます。
- アドレス帳に登録されていない場合は、接続番号が表示されます。

リモコンで应答する

1 【開始】を押す

- 通信が開始されます。
- 【決定】を押して、应答することもできます。



お知らせ

- 着信後、一定時間（約60秒）内に应答をしなかった場合、自動的に切断されます。

自動应答の場合

着信があると着信音が一度だけ鳴った後、自動的に应答して通信が開始されます。

つながるねっとサービスの有効期限を延長する

つながるねっとサービスには有効期限があります。本サービスを継続してご利用いただくには有効期限の延長を行う必要があります。

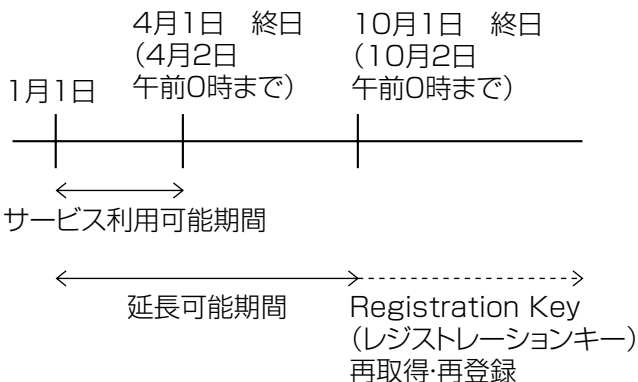
有効期限を確認する

本機を使ってサービスの有効期限を確認します。

お知らせ

- 有効期限が切れた後でも、6か月以内であれば、期限切れ前と同じ接続番号で有効期限の延長を行うことができます。6か月以上経過すると、同じ接続番号は使用できなくなり、有効期限の延長はできません。新たにRegistration Key（レジストレーションキー）を取得し、本体に登録し直す必要があります（7 ページ、11 ページ）。

例：お試し用のアクティベーションキーシートで1月1日に利用登録を完了した場合



1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

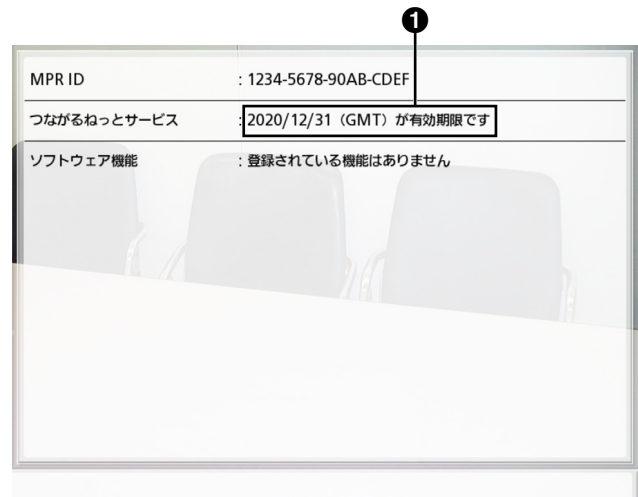
- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を3回押す

- 4ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「拡張機能の確認」を選び、【決定】を押す

- 拡張機能の確認画面が表示されます。「つながるねっとサービス」(1) の表示を確認してください。



有効期限の見かた

- 「2020/12/31 (GMT) が有効期限です」と表示されている場合、サービスの有効期限は2021年1月1日午前0時です。
- 「有効期限が切れています」と表示されている場合は、有効期限切れから6か月以内です。有効期限の延長を行うことができます。
- 「登録されていません」と表示されている場合は、Registration Key（レジストレーションキー）が一度も本体に登録されていないか、有効期限切れから6か月以上経過しています。有効期限切れから6か月以上経過すると、有効期限の延長はできません。新たにRegistration Key（レジストレーションキー）を取得し、本体に登録し直す必要があります（7 ページ、11 ページ）。

5 【ホーム】を押す

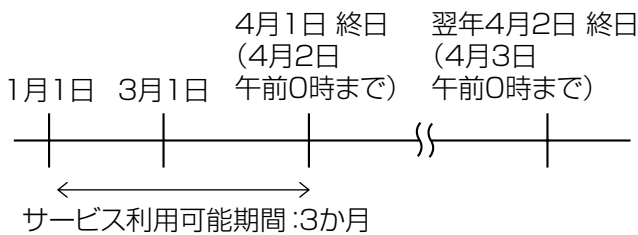
- ホーム画面が表示されます。

有効期限の延長を行う

サービスの有効期限を延長するには、有償のアクティベーションキーカードを購入する必要があります。延長できる期間はカードによって異なります。カードの詳細については、販売店にお問い合わせください。

お知らせ

- サービス利用可能期間中に有効期限の延長を行った場合は、延長した分の期間が現在のサービス利用可能期間に加算されます。
例：3か月のサービス利用可能期間中に、1年の有効期限の延長を行った場合



- 有効期限切れから6か月以内に有効期限の延長を行った場合は、延長を行った時点からサービス利用可能期間が開始されます。

1 パソコンからつながるねっとサービス登録ページ (<https://www2.tsunagarunet.com/hdcom/main>) にアクセスする

- ログイン画面が表示されます。

2 画面右上のプルダウンメニューから「日本語」を選ぶ



- ログイン画面が日本語で表示されます。

3 画像に表示されている文字を入力し、「次へ」をクリックする



- 機能選択画面が表示されます

お知らせ

- 入力時にはアルファベットの大小文字、小文字の違いも認識されます。

4 HDコム の「期間の延長」をクリックする

- 期間の延長画面が表示されます。

5 以下の項目を入力する

「MPR ID」：有効期限を延長したい本体のMPR IDを入力する

「Activation Key No.」：有効期限を延長するために購入したアクティベーションキーカードに記載されているActivation Key No. (アクティベーションキーナンバー)を入力する

「Registration ID」：有効期限を延長するために購入したアクティベーションキーカードに記載されているRegistration ID (レジストレーションID)を入力する

6 「次へ」をクリックする

- 約款画面が表示されます。

7 約款をよく読み、内容に同意したうえで「同意する」をクリックする

- 延長確認画面が表示されます。

8 「登録」をクリックする

- 延長完了画面が表示されます。

お知らせ

- 連続して複数のアクティベーションキーカードを登録したい場合は、「**続けて申請**」ボタンをクリックして、手順5～8をくり返してください。
- 同時に登録できるアクティベーションキーカードの有効期間の合計は、現在利用中の有効期間の残りも含めて最長で6年です。有効期間の合計が6年を超えるアクティベーションキーカードの登録はできません。

9 「メニューへ」をクリックする

- 機能選択画面が表示されます。

10 本体の電源ボタンをオフ／オンして再起動する

- 延長した有効期限が本機に反映されます。

11【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

12【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

13【▶】を3回押す

- 4ページ目が表示されます。

14【▲】【▼】で「**拡張機能の確認**」を選び、【**決定**】を押す

- 拡張機能の確認画面が表示されます。「**つながるねっとサービス**」の表示を確認し、有効期限が延長されていることを確認してください。

15【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

困ったとき

トラブルが起きたときは、まず以下の項目を確認してください。それでもトラブルが解決しない場合は、販売店にご相談ください。

つながるねっとサービス登録ページについて

基本動作について

こんなとき	原因と対応
画面の表示言語が外国語になっている	<ul style="list-style-type: none"> 表示言語の設定が正しくありません。 → ログイン画面右上のプルダウンメニューから、表示したい言語を選んでください (8 ページ)。
機器申請画面にログインできない	<ul style="list-style-type: none"> 画像に表示されている文字が正しく入力されていません。 → アルファベットの大文字と小文字が間違っていないか確認して、再度入力してください。 → 使用されない文字を入力していないか確認して、再度入力してください。次の文字は使用されません。 <ul style="list-style-type: none"> - 大文字：I O - 小文字：c i j l o s u v w x z

こんなメッセージが出たら

表示メッセージ	原因と対応
Activation Key No. (アクティベーションキーナンバー) が不正です。	<ul style="list-style-type: none"> 入力したActivation Key No. (アクティベーションキーナンバー)、またはRegistration ID (レジストレーションID) が正しくありません。 → アクティベーションキーカードまたはアクティベーションキーシートの記載を確認して、正確に入力してください。
申請済みのライセンスカードです。	<ul style="list-style-type: none"> 入力したActivation Key No. (アクティベーションキーナンバー) とRegistration ID (レジストレーションID) は、他のHD映像コミュニケーションユニットですすでに使用されています。 入力したActivation Key No. (アクティベーションキーナンバー) とRegistration ID (レジストレーションID) は、過去に使用されたものです。 → 未使用のアクティベーションキーカードまたはアクティベーションキーシートに記載されている情報を入力してください。それでもメッセージが表示される場合は、販売店にご相談ください。
無償ライセンスは1つの機器に複数登録できません。	<ul style="list-style-type: none"> 添付のお試し用アクティベーションキーシートで利用登録が完了している状態で、さらに別のアクティベーションキーシートを使用しようとしています。 → 添付以外のアクティベーションキーシートは使用しないでください。

本機について

基本動作について

こんなとき	原因と対応
Registration Key（レジストレーションキー）を登録したのに、つながるねっとサービスでの通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> • 接続モードが「つながるねっとサービスモード」に設定されていません。 → 接続モードを「つながるねっとサービスモード」に設定してください（14 ページ）。
Registration Key（レジストレーションキー）登録後、再起動から5分以上経ってもホーム画面右上に接続番号が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • LANケーブルが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください。 • ルーターのインターネット接続の設定が正しくありません。 → プロバイダーからの設定情報をもとに、お使いのルーターの取扱説明書に従って正しく設定してください。 • ルーターのパケットフィルタリング設定、ポートフォワード設定が有効になっています。 → ルーターの設定を無効にしてください。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。
サービス有効期限の延長を行ったのに、ホーム画面に接続番号が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • つながるねっとサービス登録ページでの登録後、本機を再起動していません。登録内容を反映させるためには、本機を再起動する必要があります。 → 電源を一度切ったあと再度入れて本機を再起動してください。
サービス有効期限の延長を行ったのに、期限が延長されない	<ul style="list-style-type: none"> • つながるねっとサービス登録ページでの登録後、本機を再起動していません。登録内容を反映させるためには、本機を再起動する必要があります。 → 電源を一度切ったあと再度入れて本機を再起動してください。

こんなメッセージが出たら

表示メッセージ	原因と対応														
Registration Keyの認証に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> 無効なRegistration Key (レジストレーションキー) を登録しようとしています。 <p>→ 取得したRegistration Key (レジストレーションキー) の内容を再度確認して (10 ページ)、登録をやり直してください (17 ページ)。</p>														
ネットワークに接続できません (XXXXXXXX) お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 「XXXXXXXX」にはエラーコード (英数字) が表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体とルーターまたはLANケーブルが正しく接続されていないため、通信ができません。エラーコードの内容は次のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #00FFFF;">エラーコード</th> <th style="background-color: #00FFFF;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01000003</td> <td>DHCP リース期限切れ</td> </tr> <tr> <td>01000006</td> <td>DHCP リース延長による変更</td> </tr> <tr> <td>01000007</td> <td>DHCP ネットワーク情報無効</td> </tr> <tr> <td>05000008 0700000b</td> <td>SIP サーバーへの登録失敗</td> </tr> <tr> <td>05000009</td> <td>つながるねっとサービスモードでの TCP 切断</td> </tr> <tr> <td>0600000a</td> <td>つながるねっとサービスモードでの TCP 切断</td> </tr> </tbody> </table> <p>→ 本体とルーターが正しく接続されているか確認してください。(本体とルーターを直接接続し、動作確認を行ってください。また、LANケーブルを交換し、動作確認を行ってください。) 正しく接続されている場合は、ルーターの設定内容が正しくないか、または本体に異常が発生している可能性がありますので、販売店にご相談ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> LANケーブルが正しく接続されていないことにより、本機とルーターとの間で通信が行えない状態が発生した場合、LANケーブルをさし直しても最大で約10分、接続番号が表示されず通信が行えない場合があります。 	エラーコード	内容	01000003	DHCP リース期限切れ	01000006	DHCP リース延長による変更	01000007	DHCP ネットワーク情報無効	05000008 0700000b	SIP サーバーへの登録失敗	05000009	つながるねっとサービスモードでの TCP 切断	0600000a	つながるねっとサービスモードでの TCP 切断
エラーコード	内容														
01000003	DHCP リース期限切れ														
01000006	DHCP リース延長による変更														
01000007	DHCP ネットワーク情報無効														
05000008 0700000b	SIP サーバーへの登録失敗														
05000009	つながるねっとサービスモードでの TCP 切断														
0600000a	つながるねっとサービスモードでの TCP 切断														
サービスの有効期限が近づいています。有効期限が切れる前に、つながるねっとサービスの「Activation Key Card」(アクティベーションキーカード) を購入して登録していただくと、期間を延長することができます。有効期限は拡張機能の確認画面でご確認ください。	<ul style="list-style-type: none"> ご利用中のサービスの有効期限が3か月を切っています。 <p>→ アクティベーションキーカードをご購入いただき、有効期限の延長を行ってください (32 ページ)。</p>														

表示メッセージ	原因と対応
<p>サービスの有効期限が切れています。つながるねっとサービスの「Activation Key Card」(アクティベーションキーカード) を購入して登録していただくと、ご利用いただけるようになります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • サービスの有効期限が切れています。 → 有効期限切れから6か月以内の場合： アクティベーションキーカードをご購入いただき、有効期限の延長を行ってください (32 ページ)。 → 有効期限切れから6か月以上の場合： アクティベーションキーカードをご購入いただき、新たにRegistration Key (レジストレーションキー) を取得し、本体に登録し直してください (7 ページ、11 ページ)。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 有効期限切れから6か月以上かどうかを確認する方法は、「有効期限を確認する」を参照してください。
<p>つながるねっとサービスの障害のため、サービスがご利用できなくなっています。お客様にはご迷惑をおかけして、大変申し訳ございません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「つながるねっと」サーバーに障害が発生しています。 → しばらく待って再度発信し、それでも接続できない場合は、販売店にご相談ください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック ビデオ会議システム ご相談センター

電話  **0570-087-800** 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日・年末年始・弊社休業日は除く)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sol.panasonic.biz/visual/soudan>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号